

事務事業名		葛生伝承館講座等開設事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	葛生伝承館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係			担当課長名	金原隆徳
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業	
短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名			市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
予算科目	14842	一般	10	4	4	葛生伝承館講座等開設事業等		任意的事業・義務的事業		任意的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	16年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法、佐野市博物館 条例		実施方法		直営	
								事業分類		講座・教室・イベント等開催事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
地元には伝わる文化や伝統芸能についての体験講座を行う。講座の計画→参加者募集→講座の事前準備→講座実施			・こどもの日民話語り(5月5日) ・万華鏡を作ろう(8月2日) ・羽子板に絵を描こう(12月7日)								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
講座等開催数			回	3	3	3	3	3			
受講者数			人	56	49	64	64	64			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
受講者 市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
受講者数			人	56	49	64	64	64			
人口数			人	123,182	122,582						
入館者数			人	7,172	7,800	7,900	8,000	8,100			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
郷土の関わりのある伝統・文化・芸能に対し、興味を持ってもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
講座を面白いと感じた/アンケート回答者数			%	84.2	85.7	87.2	88.7	90.2			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合			%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円		11		12						
	一般財源	千円	8	20		21						
	事業費計(A)	千円	8	31		33		0			0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	8	報償費	5	報償費	5				
					消耗品費	26	消耗品費	28				
	人件費	人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	63	63	63	63	63	63	63	63	63		
人件費計(B)	千円	245	245	245	245	245	245	245	245	245		
トータルコスト(A)+(B)	千円	253	276	278	245	245	245	245	245			

事務事業名	葛生伝承館講座等開設事業	担当部	教育総務部	担当課	葛生伝承館	担当係	
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年12月5日に、吉澤記念美術館別館「葛生伝承館」として牧歌舞伎、吉澤人形首を中心に地域の文化・芸能を紹介する施設として開館。平成17年2月28日、合併により佐野市郷土博物館別館「佐野市葛生伝承館」となり、参加型の講座を開館した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成16年度学芸員の配置、平成17年度博物館登録をし、博物館としての機能が整備された。館内での講座は限られ、隣接の公民館を会場とせざるを得ない状況の中、工夫しながら講座を開催。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	子どもも楽しめるような体験型イベントを実施して欲しい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	講座内容の充実を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民に伝統・文化を知ってもらうことは郷土への愛着を育むことにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	郷土芸能の保存と伝承に寄与する施設として、市が開設したので、講座の開設も実施すべきである。ただし、内容によって市民講師などによる協働は可能である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	実態に即しており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	講座の内容の充実や、他の事業との連携により、成果を向上させる余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	参加者から材料費を負担していただくようにした。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本事業は休止も終了もできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 講座の内容充実を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	外部講師などの活用を図る。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			